

「後でいいだろう」は禁物

暑い夏が過ぎ、やっと涼しくなってきました。
これからの良い季節、運動に、勉学に、食欲にお励み
下さい。

今月は、「後でいいだろうは禁物」でお話します。

仕事で忙しいときに限って、お客様から突然仕事を
頼まれる。同僚からちょっとした頼み事をされる。

そんな、経験は、皆さんもあるのではないのでしょうか。

「この忙しいときに・・・」とか「面倒だなあ～」と感じ、ついつい「後でいいだろう」と延ばし延ばしにしてしまう。

ところが、仕事を頼んだほうは、いつできるのかとイライラして待っているもので
す。当社へのクレームや不満の第一位は「遅い」です。(第二位は「いい加減」
「責任感不足」)

一見、そんな重要に思えない事でも、実際には、急がなければならない事情が
あるのかもしれませんが。まず、指示を受けた仕事をいつまでにしなければなら
ないかを確認する。そして、もし自分が今抱えている仕事特に急いでいるものな
ら、事情を説明して相談する。こうした手順を踏んで、仕事の優先順位をはっきり
させるようにしましょう。

「後でいいだろう」という勝手な判断は、周りに思わぬ迷惑をかけてしまうもので
す。必ずこまめに「報連相」を行い、仕事の優先順位をつけて下さい。

今、吉川英治の「新書太閤記」を読み直しています。あらためて、元気の出る書
だと思います。皆さんもこの秋、何か挑戦されたらどうでしょう。



専務取締役 吉田治伸